

**学校名** 行田市立北小学校  
**所在地** 行田市大字和田94-1番地  
**電話** 048-554-5521

## 1 本校の概要

本校は、開校から120年目の歴史と伝統のある学校であり、児童数は305名で、通常学級12学級、特別支援学級が2学級で構成されている。令和2年度より図書活動推進教員(月に2日)が配置され、学校図書館の環境が整備されてきている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に対する取組
- イ 学校図書館等の環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に対する取組
- ・毎週木曜日(1・3・5年生)と金曜日(2・4・6年生)を「読書タイム」として、全校朝読書を行っている。また、「お話ボランティアによる読み聞かせ」(年7回)や、「お話タンバリンによる読み聞かせ」(年3回)を行っており、地域の方とのつながりがある活動である。



- ・6月はあじさい読書月間、11月はいちょう読書月間として設定している。児童がたくさんの本に親しみ、読書量を増やせるようにすることをねらいとし、各学級で声掛けをしている。目標を達成できた児童には、達成賞を配付している。
- ・委員会の児童が企画した「オンラインによる読み聞かせ」や「図書室ビンゴ」や「スタンプラリー」を行い、児童の読書活動を促している。ビンゴになった児童は、お昼の放送で伝えたり、スタンプラリーが達成した児童には、北小のキャラクターシールを配ったりした。



### イ 学校図書館等の環境整備の工夫

- ・学校図書館利用について、年度当初に1、2年生が図書活動推進教員によるオリエンテーションを受けている。
- ・学校図書館内の本棚にはポップを貼り付け、児童が本を手に取りやすいように努めている。
- ・国語の教科書「この本、読もう」で紹介されている本の収集をし、学年ごとにスペースを設けて整備している。
- ・学校図書館前の廊下には、「図書室にある本の紹介」や「読書標語」(募集した全ての作品)を掲示している。標語については、考えた児童一人一人に、自分の作品をしおりの形にして配付している。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ・教職員や読書活動推進教員、図書委員の協力により、学校図書館の環境が整備された。それにより、児童の学校図書館利用や貸出し冊数が昨年度より増えつつある。
- ・新型コロナウイルスの感染防止のため、図書委員の活動内容に制限があった。しかし、「オンラインで読み聞かせをやってみよう」という児童の提案をきっかけに、次々と案を考え出し、読書推進の取組につなげることができた。

### (2) 課題

- ・高学年児童の学校図書館利用が少ない。高学年児童が興味をもてる蔵書を増やしたり、企画を考えたりして、どの学年も楽しめる学校図書館の環境整備をさらに進めていきたい。